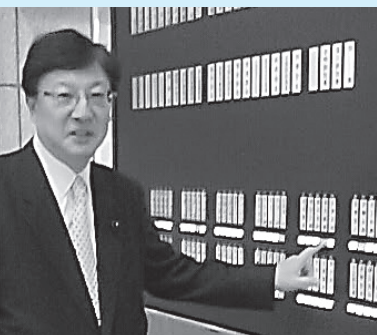


ながせひでき

永瀬秀樹の「歩く眼」 第18号



埼玉県議会について

私は、多くの皆様のご支持をいただき、政治活動の場を埼玉県政に移すこととなりました。今回は、埼玉県議会の概要についてお伝えいたします。

県議会は議決機関

埼玉県議会は、52の選挙区から選出された93名の議員から成り、埼玉県政の基本的な方針について、議案審議などを通じて決める議決機関です。県議会の決定に沿って地方自治事務を進める知事、県職員等の執行機関とは、県政の両輪の関係であり、県政の方針を定めるだけでなく、執行機関である知事、県職員が行った仕事が本当に住民福祉の増進に役立ったのかどうか、チェックも行います。

議会の概要について

1. 定例会は年4回開催

2月、6月、9月、12月

※会期 6月、9月、12月定例会は
20日間程度

2月定例会は新年度予算審議などもあり、30日程度開催

6月22日～7月10日の19日間にわたり開催された6月定例会では、以下の予算議案1議案、一般議案15議案、の合計16議案が審議されました。

① 予算議案について(1議案)

- ラグビー ワールドカップ開催自治体分担金
5,275万4千円

累計予算額 一般会計

1兆8,290億5,075万4千円

(川口市の一般会計予算 1761億円の約10倍)

② 一般議案について(15議案)

- 埼玉県個人番号の利用に関する条例
- マイナンバー法施行に向けた法整備
- 埼玉県学校設置条例の一部を改正する条例
- 介護保険法施行条例の一部を改正する条例等

このほかに、警察官の増員を求める意

見書、認知症への取り組みの充実強化を求める意見書等、6件の意見書と、知事の在任期間に関する条例の遵守又は適正な手続を求める決議、知事に対する問責決議、が可決されました。

また、9月24日～10月15日の22日間にわたり開催された9月定例会では、以下の予算議案3議案、一般議案15議案、の合計18議案が審議されました。

①予算議案について(3議案)

○一般会計

- ・道路橋梁費、さいたま新都心医療拠点の機能強化等 5億158万3千円
 - ・災害復旧費等 1億5,653万6千円
- 累計予算額 1兆8,297億887万3千円
(川口市の一般会計予算 1761億円の約10倍)

○特別会計

- ・埼玉県水道用水供給事業会計補正予算 357万8千円



災害対策

②一般議案について(15議案)

- ・介護保険法施行条例の一部を改正する条例
- ・食品衛生に関する条例の一部を改正する条例
- ・大宮警察署等統合庁舎新築工事 等

このほか、水害対策の更なる推進を求める意見書、地域医療提供体制の確保を求める意見書等、6件の意見書と、台風17号・18号災害に関する見舞い決議、警察官の綱紀粛正等を求める決議等が可決されました。

24時間フル発電
再生可能エネルギー生産プラント

家畜ふん尿の燃焼処理で電気をつくる、非メタンガス製発電システムの仕組み。

完成したい燃料
家庭畜ふん尿の燃焼処理で電気をつくる、非メタンガス製発電システムの仕組み。

完成したい燃料
家庭畜ふん尿の燃焼処理で電気をつくる、非メタンガス製発電システムの仕組み。

完成したい燃料
家庭畜ふん尿の燃焼処理で電気をつくる、非メタンガス製発電システムの仕組み。

◀循環社会対策の先進事例として、牛糞を乾燥堆肥化し、専用ボイラーで直接燃焼発電する新たなバイオマス化発電の取り組みを帯広市で視察しました

2. 本会議と委員会

全議員で構成する会議を「本会議」といい、議会の権限に関する全ての意志決定を行っています。しかし、県の仕事は複雑で専門的なため、専門的に詳しく審査するために、少数の議員で構成する委員会が設けられています。

委員会は、「常任委員会」と「特別委員会」の2つがあります。主に定例会の会期中に審査を行います。事案によっては休会中でも特定事件として審査を行います。

① 常任委員会

常任委員会は、本会議で付託された議案・請願などを審査するほか、所管する県政の諸問題について調査を行います。埼玉県議会には8の常任委員会が設置されており、私は企画財政委員会に所属しています。

企画財政委員会は、主に企画財政部の所管分野、県一般会計の歳入に関する事項、企財部、会計管理者、監査、選管に関する事項、県行政の総合的企画および調整を調査しています。

6月定例会においては、27年10月に全国民に付与、通知されるマイナンバー（個人番号）法施行に伴う、埼玉県関連の法整備等を審査しました。28年1月以降の社会保障、税、災害対策の行政手続きにマイナンバーが必要となるため、セキュリティ対策に万全を期すとともに、円滑な体制移行を図るよう意見を述べました。

また、所管事務調査として、改修工事が決定していながら入札がはかどらない「大宮東警察署 移転新築工事入札問題」について調査しました。

9月定例会では、一般会計補正予算の歳入に関する審査と、「交通政策審議会の次期答申に向けた対応について」審査しました。

予算審議については、「台風18号などによる災害の復旧の財源として、災害復旧費国庫補助金を計上しているが、災害査定や復旧事業のスケジュールはどうなっているのか。」を質問し、交通政策審議会次期答申については、湘南新宿ラインの川口駅停車に向けたJR川口駅の旅客用ホームの増設実現に向け、JR、川口市との調整状況、県の財政支援の考えを質問するとともに、JR川口駅のホーム新設が平成27年度中に決定する次期答申に策定されるよう、引き続き県として働きかけることを要望いたしました。



② 特別委員会

特別委員会は、議会が必要とするときに本会議の議決によって設置され、特定の重要な事項について審査します。

埼玉県議会には7の特別委員会が設置されており、私は自然再生・循環社会対策特別委員会に所属しています。

自然再生・循環社会対策特別委員会は、自然環境の保全・再生、地球温暖化・省エネルギー対策、廃棄物の処理及び資源循環社会の形成に関する総合的対策について審査する委員会です。

6月定例会では、自然共生・資源循環社会の構築に向けた取り組みとして、

緑の保全、森林の整備、野生鳥獣の保護・管理、ニホン鹿の個体数調整、県鳥シラコバトの保全、資源の有効利用と廃棄物の適正処理、不法投棄の撲滅、廃棄物処理業界の健全な育成、処理困難な廃棄物、処理技術の開発、などについて審査しました。

特に、川口市の地場産業である鋳物業の課題となっている、廃砂の処理技術の開発を支援するよう意見を述べさせていただきます。

9月定例会では、循環社会の形成に向けた農林業・農山村づくりに向けて、水の循環、森林の水源涵養、水循環と水田の保全、農山村バイオマスの取り組みについて審査しました。水源涵養機能だけでなく、地球温暖化防止、洪水

緩和機能、国土保全、花粉症対策にも寄与する県の森林整備方針を質問し、国家的潜在課題となっている森林飽和の解決にも資するべく、森林の循環利用を進めるよう要望しました。

まち・ひと・しごと 創生総合戦略特別委員会

国が掲げる地方創生の取り組み、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の埼玉

県版策定を審議するため、9月定例会において、新たに18人の委員から成る「まち・ひと・しごと創生総合戦略特別委員会」が設置され、私も委員に選任されました。

12月定例会、遅くとも2月定例会会期中の戦略策定に向けて、休会中審査を行っています。

人口減少と少子高齢化の悪影響（人口オーナス）による地域経済縮小を克服し、埼玉県に「まち・ひと・しごとの創生と好循環」を確立し、将来にわたって「活力ある埼玉県」を維持するため、ビッグデータの活用により埼玉県の地域課題を明確にし、自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視の5原則に沿い、国の支援の積極的活用につながる戦略を策定したいと考えています。



あなたのご意見をお聞かせください。

自民党県議団 県政調査事務所

〒332-0012 川口市本町4-8-12-102 Tel.048-223-6050 Fax.048-223-6170